

No.739 June 2018

ASAHI MACHI

Public Relations

⑨ 広報あさひまち

2018

6

No.739

東西横綱の
大一番
はっけよしい!



今年度から 国民健康保険の税率が変わります

○4月から国民健康保険制度の運営（財政）が都道府県単位の広域化されたことに伴い（※1）、町では今年度から、国保税の税率を右表のとおり改正します

国保税の改正は平成27年度以来3年ぶり。今回の主な改正内容は、国保税の算定方法が従来の4方式から3方式に変更となった点です（右表参照）。税額としては、昨年度の国保税額に対して、総額で約30%の引き下げとなります（※2）。町では今後も制度の動向について注視し、必要に応じて税率の改正を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。

また、国保税は国民健康保険特別会計を支える大切な財源です。納期限までの納付にご協力をお願いいたします。

（※1）運営広域化の経緯や詳細については、4月2日に全戸配布の「みんなの国保第72号」でお知らせしています。

（※2）国保税額は、世帯での加入者数や所得金額によって異なります。

【改正前】…4方式

	医療分	後期高齢者 支援金分	介護納付金分
所得割	7.0%	2.3%	1.9%
資産割	20.0%	8.5%	7.1%
均等割	24,500円	8,200円	9,000円
平等割	22,000円	7,400円	6,000円



【改正後】…3方式

	医療分	後期高齢者 支援金分	介護納付金分
所得割	4.5%	2.1%	1.7%
資産割	0.0%	0.0%	0.0%
均等割	18,000円	8,200円	9,500円
平等割	13,000円	6,300円	4,500円

※山形県国民健康保険運営方針により、今年度から「資産割」を除いた3方式（所得・均等・平等割）での算定に変更。

○国保税は、加入者全員が負担する「医療分」と「後期高齢者支援金分」、40～64歳までの加入者が負担する「介護納付金」に区分されます
 ▶医療分…医療費や健康づくりの事業を賄うもの ▶後期高齢者支援金分…後期高齢者の医療に係る費用を支援するもの
 ▶介護納付金分…40～64歳までの加入者が介護保険の第2号被保険者となり、介護納付金の納付に要する費用を負担するもの

【その他の改正】

○国保税賦課限度額が改正されました

賦課限度額	改正後	改正前
医療分	58万円	54万円
後期高齢者支援金分	19万円	19万円
介護納付金分	16万円	16万円
合計	93万円	89万円

※「医療分」について上限変更。「後期高齢者支援金分」と「介護納付金分」については変更ありません。

○所得の少ない世帯への軽減措置が拡大されました

改正後	軽減措置
7割軽減世帯	（所得）33万円以下の世帯
5割軽減世帯	33万円 + (27.5万円×加入者数) 以下の世帯
2割軽減世帯	33万円 + (50万円×加入者数) 以下の世帯

※世帯主とその世帯の加入者の所得により、「均等割」「平等割」について7割・5割・2割の軽減措置があります。

※今回の改正で5割・2割の軽減に該当する世帯の算定式が変わり（緑文字部分が5割…5,000円増、2割…1万円増）、軽減措置が拡大されます。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
今年度より国民健康保険の税率が変わります
- P4 特集
みんなで行くべ！町長と語ろう
- P8 町政スポット
・井澤壽一氏が黄綬褒章を受章
・第1回 学校運営協議会を実施
・空気の大切さを考えるセミナーを実施
・朝日中学校1年生「朝日探究の日」
- P10 6月5日は朝日町空気の日
- P12 まちレポ
・町小学校陸上競技記録会
・西村山中学校駅伝競走大会
・水本「菜の花観写祭10」ほか
- P16 住人十色
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、横断指導線を整備しました
- P20 第47回 町消防操法審査会

表紙の写真



6月2日に行われた西五百川小学校の校内すもう大会。東西大接戦の取り組みの一番、両軍の横綱が激突する瞬間の1枚です。同校の校庭には本格的な盛り土の土俵があり、このすもう大会も昭和30年代から続く伝統行事。地域の皆さんが中心となって子どもたちの指導に当たり、学校だけでなく地域に根付いた大切な催しとなっています。（14頁に詳細記事）

町長歳時記 (142)

「楽しみ」の法則

～主体性が楽しみを育み
楽しいところに人は集まる～

戦前の日本の物理学者であり、随筆家であった寺田寅彦氏の言葉の中に、こんな一節があります。

「興味があるからやるというよりは、やるから興味ができる場合がどうも多いようである」。なるほど、と私も思わず口元で唸ったところでもあります。

世の中には無数の事柄があって、それら一つひとつについて、何が面白く、何が面白くないか、などということは、到底把握できるものではありません。今自分の前にあるものは、世の中からすれば、極々狭い範囲の中での比較にしかすぎず、これが全てだなどと言うことはできません。

もしかしたら、自分の知らないもっと別の分野についても、一歩踏み込んでみた時、今以上に興味の持てることがあるかも知れません。

いずれにしても、楽しみは多い方が良いと思いますし、いろんなことに興味を持つことは、素晴らしいことだと思います。

また、いくつになっても新しいことに挑戦し、新たな発見に一喜一憂する、そんな人間味あふれた、真に躍動感のある生き方に惹きつけられることが多々あります。なぜなら、そこには自分で自分の人生を切り拓いていこうとする、主体的な人間の強さがあるからです。

ただじっとそこに立ち止まり、誰かが声をかけてくれるのを待っているのではなく、自ら歩き出し、扉を開けて前に進んでいく。そんなメッセージが前述の言葉には込められているように思います。

何事にも前向きにやってみることで、興味ができる。そして、自分が楽しむことにより、より多くの人々にその楽しさを伝えることができる。そして、そんな楽しいところに人は集まってくるのです。

朝町長 鈴木浩孝

▶問合せ先 健康福祉課 保険給付係 ☎0237-67-2132

町長と語ろう ～実施の流れ～

①地域派遣職員（※次頁で詳細）が区長さんおよび町長と相談のうえ、開催日程等を調整します
各区担当の町職員が、「開催テーマ」「開催日時」「会場」「当日の運営」「集客方法（チラシの作成）」などについて、区長さんに直接相談・調整・連絡を行います。

②開催日程に合わせて案内チラシを配布します
チラシの作成は地域派遣職員が行い、配布については、開催日最寄りの町の文書配布日（1・16日）に合わせて、区長さんが行います。

③「町長と語ろう」を開催します
各区公民館などを会場に開催し、当日は町長と地域派遣職員が伺います。進行は町長、記録は職員が担当します。
※座談会は皆さんと町長との対話形式となります。
※当日その場で回答ができなかったものは、持ち帰り後日回答書でお返しします。

④派遣職員が当日の記録をまとめて関係各課へ回覧し、「議事録および回答書」を作成します
随伴職員が記録をまとめ、担当各課へ回覧します。当日回答できなかったものについては、担当課と協議し「議事録および回答書」を作成します。

⑤議事録および回答書を区長さんへお届けします（開催後1カ月以内を目標）
議事録および回答書は、区長さんへ文書で送付します。通常10部を用意しますが、さらに部数が必要な場合は、当座談会事務局の「政策推進課（☎67-2112）」までご連絡ください。

みんなで
行くべ!



車座になって、町の未来を語り合う座談会

今年も5月からスタート

「今年もたくさん集まっていたので、ありがと様なっす」

5月25日、今年第1回目となる「町長と語ろう」が下芦沢で行われました。参加者はみんな車座。会話は鈴木浩幸町長のあいさつを皮切りに、和やかな雰囲気です。当日参加した同区民は12人。話題は今年度の開催テーマ「第6次朝日町総合発展計画」をベースに、「子育て支援」「空き家対策」「デマンドタクシー（公共交通）」「地域振興計画」など多岐に渡り、その一つひとつに町長が回答していきます。

お茶のみ話の雰囲気

特に、昨年度複数回に渡りワークショップを実施し、今年3月に他の地区に先駆けて独自の振興計画を策

定した下芦沢区。地域のモデルケースとなる皆さんの活動に、進行役の町長も興味津々で聞き入ります。

「計画づくりを通して町職員の皆さんと一緒に幾度も議論を重ね、自分たちの役割やこの土地の魅力を見つめ直す良い機会になった。明るいことばかりじゃないが、将来の下芦沢区について前向きに考えることができた」と岡崎兼一区長。鈴木町長はその言葉に勇気付けられたと語り、「地域づくりの主体は町民の皆さん。その基本を改めて教えていただいた」と笑顔で締めくくりました。



今年度第1回目の座談会の様子
(5月25日/下芦沢公民館)

町民の「生の声」を町政へ

環境や特色、抱える課題もそれぞれ異なる55区。町としてこれら集落の現状を知り、地域づくりへの提案や課題を住民の皆さんとともに実現・解決するためには、いかにして現地の「生の声」を汲み取るかが重要になってきます。

「町長と語ろう」は、前述の目的に加え、「行政と地域との距離を縮め、絆を深めたい」という町長たちの思いから実施するものです。当座談会は、町政について町長に直接提言できる大変貴重な機会です。また、出たご意見は町職員が取りまとめ、関係各課で共有し、各施策に反映されます。多くの町民の皆さんの参加をお待ちしています。

町長自らが町内全地区（55集落）を訪問し、地域の皆さんとまちづくりについて語り合う「町長と語ろう」。平成17年6月より毎年欠かさず行われており、町職員が地域に入るきっかけや、より地域の実情に沿った町政を実現するためにも貴重な広聴の場となっています。今号では、運営の流れや過去の実施実績などを振り返るとともに、当座談会の根幹にある「協働のまちづくり」の実現について考えます。

▼問合せ先 政策推進課 地域情報係 ☎0237-67-2112

「町長と語ろう」への思い



就任当初より実施する当座談会の趣旨や思いについて、鈴木浩幸町長に聞きました。

Q「町長と語ろう」の開催趣旨は

まちづくりの原点は「顔と顔を合わせ、みんなが同じ方向（目標）を見ながら語り合うこと」だと思います。また、町は各々の地域があつてはじめて成り立つものです。地域の元気が町全体の活性化につながります。

そこで、町内各區それぞれの風土や空気を肌で感じながら、直接住民の皆さんと自由に語り合える場を設けたいと企画したのが当座談会です。

Q全55集落を訪問するのだけじゃなく

一番は、地域と行政との距離を縮め、信頼と絆を深めるためです。私や町職員が「毎年必ず全町の地域へ足を運び」「思いを汲み」「行動を起こす」こと。これこそが目に見えない

「絆」や「心のつながり」を表すメッセージになると思います。

Q地域の皆さんに呼びかけ

開催に際して、毎年区長さんをはじめ、各区民の皆さんに多大なご協力をいただき感謝しております。皆さんと膝を交えて語り合い、朗らかな笑顔が見られるこの時間は、私の楽しみでもあります。

これからも皆さんが笑顔で楽しくこの朝日町に暮らして良かったと思える地域と一緒に築いてまいりましょう。私もそのためにできる限りのお手伝いをさせていただきます。と思います。

もっと「語ろう」!

「即回答」「即対応」を心がけ 次年度施策(予算)への反映も



対応はスピード感を持って

当座談会が出た意見や要望等は全て記録し、関係各課で回覧されます。また、回答を含めた「議事録」を、概ね1カ月以内に区長さんへ送付します(急ぎの案件は2週間以内に回答)。また、かかる時間や金額の大きなものは補正予算、または次年度以降の予算に計上するなどして対応を進めています。

町民の意見を施策に反映

昨年度の意見からこの度予算化された主な事業としては、「Asahi自然観グラウンド・ゴルフ場の整備」「町道一本松線をはじめとした町道の新設改良」「寒河江・朝日町間直行バスの運行」など。ハード面での支援が目立ちますが、ソフト面では「空家除去支援事業(撤去費用への助成)」の新設、「町広報誌地域イベントページのカラー化」「集落の自治活動等に対する交付金規約をいやすく改訂」するなどしています。

テーマ以外の話題も歓迎

「町長と語ろう」は、より具体的なご意見を得るために毎年テーマを変えて実施していますが、もちろんそれ以外の話題も歓迎です。実際に昨年左表のとおり、様々な意見が出ています。

座談会は町長との対話形式で行われ、誰でも自由に発言しやすい場づくりを心がけています。世間話の

ように気安く、日常生活での気付きや困りごと、疑問や質問などの「本音」をお話ください。

または、ともに地域づくりを行う仲間として、「私はこうしたい」「やってみたい」という企画や提案を聞かせてください。あなたのその「声」が町の新たな施策を生み、多くの町民にとって、より良い未来を築くきっかけとなるかもしれません。

◆意見の内訳(昨年度実施分/189件)

分類	件数	主な話題
定住・仕事	18	仕事・住まいの確保、婚活事業
観光・イベント	17	道の駅、Asahi自然観、4大まつり
公共物の整備	16	道路、農林道、公民館
地域づくり	16	地域資源の活用、まつりの維持、交付金
農業	13	後継者・若手育成、耕作放棄地、鳥獣被害
学校・教育	11	学校統廃合、奨学金制度
生きがい・健康づくり	10	長寿クラブ、ミズノとの提携
除雪	9	除雪隊、交付金、ボランティア
空き家対策	8	空き家バンク、空き家解体問題
公共交通	6	デマンドタクシー、バス
子育て支援	6	支援の充実、未満児保育、放課後児童クラブ
介護福祉	5	高齢化、福祉施設の受け入れ
防災・消防団	5	交通安全、消防団員の減少
ゴミ・環境	4	ゴミの収集、分別
広報・広聴	3	情報発信、ホームページ
町立病院	3	待ち時間、福祉施設との連携
町職員	2	職員の対応
その他	37	桃色ウサビ、区有林、ふるさと納税、山村留学、廃校の利活用、地域おこし(集落づくり)協力隊、少子高齢化、方言、表彰規約、選挙 など

もっと「語ろう」!

「信頼」でつながる「協働」を目指して

町職員地域派遣事業(あなたの地域の担当職員)



各区で行われる「町長と語ろう」には、町長と各区担当の「地域派遣職員」が伺います。地域へ入り、町民の皆さんとともに活動する中で、より信頼される職員を目指す取り組み。その目的と具体的な活動をご紹介します。

町職員が地域に入るきっかけに

「町職員地域派遣事業」は、その名の通り、町内全55地区に町職員(一般行政職)を派遣する事業です。

各地区にそれぞれ2~3人の担当職員を配置し、「町長と語ろう」等の地域座談会の運営や、(区長の申し出により)地域行事等へ参加します。これら住民とのコミュニケーションを通して、区の実情や抱える課題などについて情報収集を行います。

町民に信頼される職員を目指す

今年度より実施する「第6次朝日町総合発展計画」では、まちの経営方針として3つの活動テーマのひとつに

「町民と行政の協働」を掲げています。「協働」は「信頼」関係なくしては実現しません。当事業で派遣された職員が、区長さんをはじめ地域の皆さんに顔と名前を覚えていただくことが、その第一歩となります。

活用されてこそその事業

派遣職員の業務として、座談会の運営は必須業務ですが、地域行事や各種会合への参加等については、「各区の必要に応じて」としています。その理由について、当事業を担当する政策推進課の三浦浩一課長は次のように話します。

「地域づくりの主体は住民の皆さんであり、この取り組みを通して、地域が『自発的』に行政の機能を活用できる流れをつくるためです。



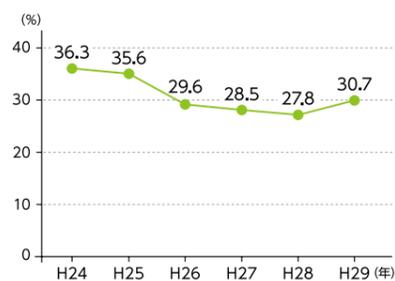
政策推進課 三浦 浩一 課長

派遣職員は一番身近な窓口となりますが、その機能をいかに活用するかは皆さん次第。地域差はありますが、近年は集落のまつりなどに職員が参加する機会が増えているようです。今後もぜひ積極的に職員と交流を深めていただき、何でも相談していただきたいと思えます。地域も行政も一体となって、元気な町をつくっていきましょう。

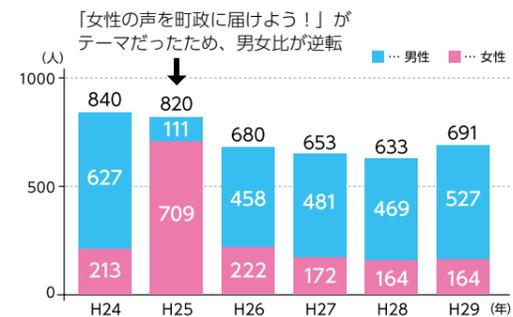
各地区担当の「地域派遣職員」は、年度はじめに区長さんへ名簿でお知らせしています。座談会だけではなく、ぜひ様々な地域活動をお手伝いさせていただきます。

DATA ~過去の実施状況~

◆世帯数に対する参加者数の割合の推移



◆参加者の男女の比率



昨年度は「10年後の朝日町を語ろう」をテーマに実施。町内全地区で世帯の約31%(4月1日現在の世帯数に対する割合)となる691人が参加しています。

また、参加者のうち女性の割合は約24%、おおむね50歳未満の方の割合は8%という結果でした。

地域派遣職員役

- ① 地域座談会(町長と語ろう)等の運営
- ② 区長から申し出のあった地域行事への参加および住民との交流
- ③ 区長を通じて申し出のあった各種団体等の話し合いに出席
- ④ 地域課題の解決策検討、および各種企画立案の支援や調整
- ⑤ 派遣当日、区民との面談や打ち合わせに出席し、結果をまとめる

【取り組みの目的】

町は「地域力の向上」に貢献する人材育成および、職員の知識や技術、町役場の様々な事務機能等を地域が活用できる流れをつくるため、次のことに取り組む。

○ 町職員は、担当する事務や事業の企画、実践を通して地域社会に貢献することを目指す。

○ 町職員は住民との交流等を通して、地域における多様な情報を収集する。また、課題を探り、様々な事務や事業につなげる等の経験値の向上に努める。

○ 地域が自ら取り組む課題解決策の具体化および目標実現の可能性を向上させるため、地域が必要とする分野の町職員を、現地や企画立案の場に派遣する。

「空気の日」を世界へ… 空気の大切さを考えるセミナーを実施

■総合産業課 交流観光係 ☎67-2113



▲名古屋大学名誉教授の岩坂氏による講演

▼「朝日町と空気の日」をテーマに行われた意見交換会



6月2日、同日開催の空気まつり共催イベントとして、「改めて空気の大切さを考える」と題したセミナーがAsahi自然観で行われ、町民など約50人が参加しました。環境問題等について研究・保全活動などを行う(社)環境創造研究センター(名古屋市中)が主催の全国リレーセミナーの一環。6月5日の世界環境デーにちなんで「朝日町空気の日」を制定している当町に白羽の矢が立ち、実施されたものです。セミナーには、名古屋大学名誉教授の岩坂泰信氏をはじめ3人の有識者が登壇。空気と人

との関係や地球温暖化対策等について講演がありました。その後の意見交換会では、鈴木浩幸町長が当町の「空気の日」の取り組みを紹介。講師陣からは「空気に感謝するという町の考えに改めて感銘を受けた」との声が上がり、「空気がつながっているということ」を世界中が認識し、きれいな空気を後世に伝えていくことが大切」とまとめられました。町内から参加した男性の一人は、「空気神社は世界から見ても先駆的な取り組み。もっとPRするべき」と話していました。

朝日中学校1年生「朝日探究の日」 町特産りんごの魅力再発見

5月17日、朝日中学校の1年生48人が学年行事「朝日探究の日」として、町特産のりんごについて学び、町歩き遠足を行いました。総合的な学習の時間で「Back to Apples」りんごの魅力再発見をテーマに取り組んでいる探究型学習の一環。今年りんご栽培をしながら、「土」「水」「人」「味」の4つのテーマに分かれて、おいしいりんごを育てる朝日町の環境や生産者の努力などについて学びを深めています。

遠足ではまず、県の指導農業者である菅井誠吉さん(沼回)のりんご園を訪問し、町のりんご栽培の歴史や1年の仕事の流れなどについて学習。また農業や肥料の卸・小売を行うイノチオ東北(株)の朝日営業所では、りんごに使う農業の使い方などについてお話を聞きました。そのほか大隅遺跡や榎平の棚田(一本松公園)など町の名所を歩いて巡り、それぞれの場所で自慢の合唱を披露しました。

阿部大翔さん(松程)は、「生産者の皆さんの苦労を改めて知った。これからも町のりんごをたくさん食べて、そのおいしさで魅力をもっと多くの人に伝えていきたい」と話していました。



▲当日の天候はあいにくの雨模様で、合羽姿の生徒たち。訪問先では熱心に話に聞き入り、メモを取っていた

▼学習のお礼に声をそろえて「夢の世界を」を合唱



平成30年春の褒章 井澤壽一氏が黄綬褒章を受章

■農林振興課 農政係 ☎67-2114



▲黄綬褒章を受章した井澤氏(右)と鈴木町長(左)

(※)黄綬褒章とは…農業・商工業等の業務に精励し、他の模範となる技術や実績を有する方に贈られる褒章。今回は全国で171名、県内では井澤氏を含め5名が受章しています。

今年度の春の叙勲および褒章の伝達式が5月15日、農林水産省で行われ、井澤壽一氏(夏草)が、黄綬褒章(※)を受章しました。井澤氏はりんご農家として50年以上農業に従事し、JASがえ西村山農業協同組合の嘱託指導士ほか、町センターりんご組合長などを歴任。シナノスイート等りんご中生種のいち早い導入や海外輸出への挑戦など、数々の先進的な取り組みを先導し、町りんご産業の発展および生産者の所得向上に大きく貢献しました。

また、平成20年からは朝日町りんごアドバイザーに就任。その豊富な知識と経験を活かし、剪定技術をはじめ着果や着色技術等の指導を行い、生産者育成にも尽力しています。今回の受章を受け井澤氏は、「身に余る光栄。これまで出会い、支えてくださった全ての方と共にいただいた褒章だと感じる」と感謝を述べ、「人のために尽くせ、という親の教えと約束を守り、今後も自分の力の限り、人の役に立つ仕事をしていきたい」と喜びを語っていました。

朝日町コミュニティ・スクール 第1回 学校運営協議会を実施

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302



▲町内4校32名の委員に任命書が交付されました



今年度4月より町内3小学校と朝日中学校で開始した「朝日町コミュニティ・スクール(※)」。その一翼を担う「学校運営協議会」の第1回目が5月9日、創造館で行われました。会ではまず、地域住民やPTAなどから選ばれた当協議会委員(4校合わせて32名)に小林道和教育長より任命書を交付。続いて当取り組みの考え方や町が目指すコミュニティ・スクールのあり方について説明がありました。その後各学校ごとに分か

れ、「今年度の学校経営基本方針の承認」の後、「今後どのような学校を目指すか」をテーマとした熟議が行われました。当協議会では、今後も年度内に2回の会合を予定。その他、県内先進校への視察を行い、地域に根ざしたより良い学校づくりに向けて活動していきます。

(※)コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置し、地域と学校の協働による学習体験活動を提供することで、よりたくましく生きる力を持った子どもたちを育成する取り組み。

6月5日は朝日町 空気の日

「空気の恩恵を人間は忘れていた。世界に先駆けて、わが町に空気神社を造ろう」――。

故白川千代雄氏（松程）が提唱したのは、昭和48年のことでした。その後、自然崇敬の高まりを願い、昭和63年に「空気神社建立奉賛会（故菅井敏夫会長）」が創設。平成2年、世界に類例のない環境モニュメント「空気神社」が白倉に完成しました。

町は平成4年3月、世界環境デーの6月5日を条例で「朝日町空気の日」に制定。「空気まつり」や各種取り組みを通じて、空気の大切さをよびかけるとともに、自然豊かな町を広く発信しています。



▲▲各種イベントも大盛況
①木登りツリーイング体験 ②お茶会（照園会）③バルーンアートのプレゼント ④チェーンソーアート

▶空気が縁で空気まつりを訪れ、神社周辺の環境整備を支援する「ダイキン工業株式会社（大阪府）」。今年も特別ブースで展示会を開催

▲▶これを目当てに多くの人々が足を運ぶまつりのメインイベント「みこの舞」。6月3日は大沼雅楽保存会の演奏に合わせて実施された。今年も宮宿小（和合地区）の4～6年生の女子児童5人が、鏡状の神殿上で優美な舞を奉納した

空気の恩恵に感謝 空気まつり (6/2・3・5)

「空気」や「自然」にちなんだ多くの関連事業を実施。年に一度、地下にある空気神社の本殿が一般公開されるほか、5m四方のステンレスでできた神殿上で、きれいな空気とブナの緑とともに「みこの舞」が披露されます。今年も晴天に恵まれ、3日間で約3,500人が会場のAsahi自然観を訪れました。



▲開会に先立ち、議員および町執行部全員で「町のきれいな空気に感謝」。空気神社の参拝方法に習い、両手を広げて天をあおぎ、大きく深呼吸をした



▲桌上的ブナの幼木は、議会終了後にブナの森散策会でまちおこしを行う高田区へ寄贈される

「朝日町空気の日」にちなみ、町は町議会6月定例会を「空気に感謝する議会」として、様々な取り組みをしています。

6月1日から6日にかけて開催された議会定例会では、1日の本会議の開会前、空気に感謝する姿勢を示したほか、議員、町執行部とともに空気神社モニュメントを模ったネクストラップを着用。机上には町の木「ブナ」の幼木を置き、町をあげて「空気に感謝し、自然環境を大切にすまち」をPRしています。

町議会6月定例会は 「空気に感謝する議会」



5/11 朝日中男子チームが3位で県大会出場決める
西村山中学校駅伝競走大会

今年度の西村山中学校駅伝競走大会が5月11日、町秋葉山周辺で行われ、朝日中男子チーム（メンバー：鈴木勝太、鈴木一麻、佐竹柊、渡辺悠月、白田隆太郎、阿部奨悟 / 全員3年）が第3位で見事県大会出場を決め、女子チームも第4位と健闘しました。大会は男子6区間 18.6 キロ、女子5区間 12.4 キロをタスキでつなぐコースで、西村山地区の中学校7校が出場。県大会は9月8日、山形県総合運動公園周回コースで行われます。ぜひご声援ください。



▲イベントを主催する地域の皆さん
▶花畑では津軽三味線の演奏も



5/13 住民有志で育てた菜の花畑でおもてなし
水本「菜の花観写祭10」

5月13日、水本地内で「菜の花観写祭」が開催され、町内外から約80人が参加しました。地域住民等で組織する水本菜の花協議会（岡崎吉博会長）主催。耕作放棄地の有効活用とまちおこしを目的に栽培する菜の花が見頃の時期に開催されているもので、今年で10回目となります。イベントでは高橋兄弟（長井市）による津軽三味線が披露され、来場者を歓迎。昼食会として、ワラビたっぷりの山菜汁が振る舞われました。参加者は満開の菜の花畑で存分に撮影会を楽しんでいました。



5/13 一つひとつ丁寧に、摘花作業に汗
りんごの樹オーナー制開園式

町特産のりんごのPRを目的に、樹1本に1口5万円をオーナーを募集する「りんごの樹オーナー制」。その開園式と摘花作業が5月13日、秋葉山交遊館および各園地で行われ、オーナーとその家族等約250人が参加しました。23年目を迎える今年は64口の申し込みがあり、うち新規が5口。開園式では1年間作業をする樹を決定し、園主との顔合わせの後、昼食会として山菜汁が振る舞われました。式の後それぞれの園地へ移動し、花摘み作業にさわやかな汗を流しました。



▲全団員が一堂に会し、今年1年の活躍を誓った

5/21 今年1年の心身の健康と活躍を誓う
町スポーツ少年団結団式

5月21日、町スポーツ少年団結団式および交歓交流会が町民体育館を会場に行われました。

今年度の町スポーツ少年団員は8団体94人。全団員が一堂に会した結団式では、団員代表の菅井遼斗さん（自然観スキースポーツ少年団/宿）が今年1年の健康と活躍を宣誓。結団式後は交歓交流会として、全団体対抗の長縄跳び大会が開催されました。子どもたちは、仲間と息を合わせて縄を跳び、絆と交流を深めていました。

ホームページに写真



5/15 小学5・6年生が自己ベストに挑み奮闘
町小学校陸上競技記録会

5年男子	1位	記録	2位	3位
100m	鈴木蓮音(宮)	15秒8	近藤碧唯(宮)	佐藤隼磨(宮)
70mH	鈴木蓮音(宮)	13秒5	近藤碧唯(宮)	長岡翼(大)
1000m	近藤碧唯(宮)	3分55秒4	阿部佑音(宮)	白田玄(大)
走幅跳	鈴木蓮音(宮)	3m19cm	長岡珠璃(大)	渡邊牙輝(宮)
走高跳	長岡翼(大)	1m11cm	海野我空(宮)	細谷叶汰(宮)

5年女子	1位	記録	2位	3位
100m	布施美羽(宮)	16秒5	阿部ひゆり(宮)	伊藤麗来(宮)
70mH	海野結菜(宮)	14秒7	鈴木丹香(宮)	相座麻衣(宮)
800m	布施美羽(宮)	3分6秒1	伊藤麗来(宮)	佐久間陽菜乃(大)
走幅跳	阿部ひゆり(宮)	2m96cm	長岡柚希(西)	佐藤結菜(宮)
走高跳	野村史佳(宮)	1m00cm	白田夏希(大)	海野結菜(宮)

6年男子	1位	記録	2位	3位
100m	堀龍空(宮)	14秒8	鈴木明空(大)	滝川壯(宮)
70mH	鈴木明空(大)	12秒1	海藤珀(西)	滝川壯(宮)
1000m	堀龍空(宮)	3分19秒5	佐藤涼介(大)	海藤珀(西)
走幅跳	鈴木明空(大)	3m90cm	岸夏輝(大)	佐直聖那(宮)
走高跳	滝川壯(宮)	1m21cm	長岡大聖(西)	白田皓聖(大)

6年女子	1位	記録	2位	3位
100m	峯田結羽(宮)	15秒5	小松萌姫(西)	設楽みらい(宮)
70mH	小松萌姫(西)	13秒3	峯田結羽(宮)	設楽みらい(宮)
800m	峯田結羽(宮)	2分51秒0	成原結愛(宮)	大竹紬(宮)
走幅跳	設楽みらい(宮)	3m19cm	熊谷帆香(宮)	三橋綾菜(宮)
走高跳	小松萌姫(西)	1m08cm	安藤瑠七(宮)	小嶋愛桜(大)

400mリレー	1位	記録	2位	3位
男子	宮宿A	1分1秒(大会新)	大谷A	宮宿B
			(宮宿Aチーム選手 堀龍空・鈴木蓮音・佐藤翔太・滝川壯)	
女子	宮宿A	1分3秒3	宮宿B	大谷A
			(宮宿Aチーム選手 設楽みらい・三橋綾菜・成原結愛・峯田結羽)	

西五百川小グラウンドを会場に、町内3小学校の5・6年生106人が出場。必須種目の100m走と70mハードルのほか、走り幅跳び、走り高跳び、持久走(男子…1000m、女子…800m)の3種目の中から各自1種目にエントリーし、自己ベストを目指して奮闘しました。

当日は好天に恵まれ、男子400mリレーでは3年ぶりに大会新記録が更新されました。記録更新を果たした宮宿男子Aチームには、特別なメダルが贈られました。





▲遠藤さんから説明を受け、丁寧に花を植える子どもたち

5/23 「花と緑・環境の会」が環境美化活動で協力 あさひ保育園で花壇づくり

5月23日、あさひ保育園で年長組40人によるガーデニング作業が行われました。園を花でいっぱいにと毎年行っているもので、今年は、今の自然を次世代に伝えようと地域の環境美化活動を推進している「花と緑・環境の会（遠藤かつ系代表/長井市）」と協力して実施。地球に優しい有機肥料で土づくりをした花壇に、様々な花の苗を植えました。

同会では他にも、朝日町役場西側花壇とAsahi自然観道路脇の花壇を整備。花であふれる美しいまちづくりに貢献しています。



▲学校生活を共にし、交流を深めた
▶当町に訪れたモンゴルの皆さん

5/26~30 日本語を学ぶ学生が町にホームステイ モンゴルから日本語学習生が来町

5月26日から30日にかけて、モンゴルで日本語を学ぶ12歳から17歳までの4人の学生の皆さんが当町を訪れ、朝日中学校の生徒等と交流を深めました。日本とモンゴルの子供たちとの交流事業を行う「ホランの会（東京都）」が企画。朝日中では昨年に引き続き2回目の受け入れとなります。モンゴルの子供たちは期間中町内の民家にホームステイし、うち3日間、同中学校へ体験入学。生徒たちと英語と日本語を交えながらコミュニケーションを取り、それぞれの文化の違いを学び合っていました。



▶町PRキャラクター桃色ウサヒと一緒に、盛り上がりも最高潮の町民サポーター

5/27 両者譲らぬ試合展開に町民サポーターも興奮 モンテディオ山形 町民応援デー

通常の半額で観戦できる「市町村応援デー」。朝日町民応援デーに指定されたモンテディオ山形のホームゲーム、ツエーゲン金沢戦が5月27日、NDスタジアム山形で行われました。

キックオフに先立ち、川口副町長が選手に町特産のワインを贈り激励。桃色ウサヒがモンテディオ山形のマスコット「ディーオ」と町のPRを行いました。晴天に恵まれ、試合は両者譲らぬ白熱した展開。結果は2-1で見事モンテディオ山形が逆転勝利をおさめ、町民サポーターも皆大満足の1日となりました。



▲大にぎわいの昼食会
◀棚田の景観を守る保全活動

6/2 町の名所「榎平の棚田」の景観を守り楽しむ ヒメサユリまつり

6月2日、榎平の棚田で空気まつり協賛事業「ヒメサユリまつり」と榎平棚田保全会（志藤寛一会長）の美化活動が行われました。棚田の景観を守る保全会の活動は今年で13回目。区民と町内外の保全会員約50人が一本松公園と第2展望台の草刈りを実施しました。その後開催されたヒメサユリまつりには、一般の方を含めて約120人が来場。昼食に棚田ママの会の皆さんが調理したおにぎりや笹巻き、山菜汁や手作りの漬け物などが振る舞われ、参加者は美しい里山の景色とともに味わっていました。

▶ホームページに写真



▲▶今年は全取り組みを「本土俵」で実施。下学年も女子児童も全員が本土俵で全力の取り組みを見せた
▼優勝旗を手に誇らし気な両軍横綱



▲勇ましい「弓取り」の披露



▶開会式であいさつしたミズノ(株)仙台営業所の吉田所長
◀ミズノ特製、ウサヒ専用スポーツウェアは朝日町らしい赤白デザイン



6/2 真剣勝負！白熱の取り組み 西五百川小すもう大会

町で唯一すもう大会を開催している西五百川小学校。60年以上続く伝統のすもう大会が6月2日、同校庭に備え付けの土俵で行われ、児童たちが白熱の戦いを繰り広げました。

地域の皆さんと先生方の指導のもと、毎日のように練習を繰り返してきた子どもたち。本番の取り組みは1・2・3年生の下学年、4・5・6年生の上学年ごとに「一本勝負」と「3人勝ち抜き戦」が行われました。全児童が東軍西軍に分かれ、勝ち星の数で勝負。相手に負けまいと互いに歯を食いしばり、複数の取り組みで仕切り直しが行われるなど大接戦。観客の応援にも力が入ります。

そして取り組みの一番は、上学年男子幕内、三役同士の一本勝負。取られたら取り返す、両者譲らぬ熱戦を繰り広げ、結果はなんと、勝ち星同数の東西両軍優勝となりました。

最後に優勝旗を手にした両軍横綱が勝ちどきをあげると、児童たちは互いの健闘を笑顔でたたえあい、喜びの声をあげていました。

6/3 「ミズノ杯」としてミズノ(株)が協力 町民グラウンド・ゴルフ大会

6月3日、Asahi自然観グラウンド・ゴルフ場を会場に町民グラウンド・ゴルフ大会（春の陣）が行われ、町内から約80人が参加しました。

町民グラウンド・ゴルフ協会（佐竹庄吉会長）主催で年2回（春・秋）実施しており、今回で51回目。また、今回は総合的なまちづくりで提携を結ぶミズノ株式会社と協力し、初の「ミズノ杯」として開催しました。

大会にはミズノ(株)仙台営業所の吉田誠所長が駆けつけ、集まった選手の皆さんを激励。開会式に同社特製のスポーツウェアに身を包んだ町PRキャラクター桃色ウサヒが登場したほか、ホールインワンゲームで同社の新製品（クラブとボール）を使用するなど、ユニークな大会となりました。また、競技にもミズノ(株)仙台営業所より2人が参加。町民とともに汗を流し、交流を深めました。

吉田所長は「今後も町の様々なスポーツイベント等で協力し、地域の活性化や皆さんの健康づくりのお手伝いをしていきたい」と語っていました。



はじめまして。今年4月より「にぎわい創出推進員」として着任しました鈴木貴成です。出身は天童市です。今回は自己紹介を兼ねて、私の普段の活動について書きたいと思います。

まずは、町の新たなブランド品の育成として、水本地区の牧場で「あつぷるニュー豚」を飼育しています。あつぷるニュー豚は町特産のりんごと自家製乳酸菌発酵飼料を与えて育てた、全国でも珍しい放牧豚です。この豚の特徴は、脂身がさっぱりとして飽きのこない肉質。私も実際に食べてみて、その美味しさに感動しました。

次に、にぎわいを生む観光資源の発掘として、里山の再生



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「町のにぎわいをつくる仕事」

朝日町にぎわい創出推進員 **鈴木貴成** (天童市出身)

を進めます。りんご温泉および朝日中学校の裏山に遊歩道等を整備し、子どもたちが山の楽しさを感じられるような場所をつかっていきたいと思っています。

他には、町のイベントへの参加やお手伝いをしています。5月は水本菜の花観写祭、6月の空気まつりにも参加しました。空気まつりでは、あつぷるニュー豚の精肉とワインナーの試食・販売を行いました。とても好評で、ほぼ完売と嬉しい結果でした。これからの町の各種イベントをお手伝いしながら、特産品等のPRをしていきます。見かけた際には、気軽に声をかけていただけたら嬉しいです。よろしくお願ひします。



飼育している「あつぷるニュー豚」と鈴木隊員 (水本内)



繊細で愛らしい手づくりの「ちりめん細工」

若月ミチ子さん (前田沢)

「かわいい」「細かくてすごくきれい…」古民家の和室に飾り付けられたちりめん細工に、皆さんうっとり見とれています。

5月19日から26日にかけて、宿のやかた (前田沢) で行われた「ちりめん細工作品展」。会場いっぱい並ぶ作品の数々は、なんとすべてお1人の方が手掛けたものです。制作をはじめた経緯や作品づくりのこだわりなどについて、作者の若月ミチ子さんにお話を伺いました。

「きっかけは友人がくれたドングリのちりめん細工でした。ちょうど早期退職して手が空いていた頃で、自分でも作れるかもと、見よう見まねで挑戦してみたんです」。元々洋裁など縫い物が好きだったという若月さん。約18年前から独学で作品づくりをはじめたといいます。

「まずはボタンや手まりのような小さなものからね」。かごや瓶にぎっし

り詰まったそれらの初期作品を手に取り、愛おしそうに見つめる若月さん。「実は大きいものを作るのは苦手で、こういう小さいものをたくさん作るのが好きです。ひとつのモチーフが浮かぶと、同じデザインで何個も作るの。布の柄や色でそれぞれ表情が違って、かわいいでしょう」。小鳥や金魚、お雛様やこいのぼり——。色鮮やかな金紗ちりめんや、絹などの古布を組み合わせて作られ、手仕事のあたたかさや愛らしさを感じる若月さんのちりめん細工は、多くの人を魅了します。

また、作品を見ていると随所にドングリや松ぼっくりなどの木の実や草花、流木や昔の古道具などの木材が使われているのに気付きます。「町の環境もあるんでしょうけれど、自然のものがやはり好きです。山や川に行くたびに宝の山のように、色々材料を集めちゃう。この木はアレに似てるな…とか、この実を飾り付けたら素敵になり

そう…とか、眺めていると様々なアイデアが湧いてきます」

この度の展示会は、2012年に創遊館で開催して以来、自分のペースで作ってきた作品たちは今や数えきれないほどで、若月さん本人も「普段は自宅に並べているものの、改めてこんなに作ったのかとビックリです」と笑います。「今回は星の会さんにお声をかけていただき、古民家の和室という素敵な会場で開くことができました。飾り付けを考えるのも楽しくて、そして本当にたくさんの方がご覧になって褒めてくださって、私は幸せ者ですね」

作品づくりを通じて町内外に多くの友人ができたという若月さん。長年作品づくりを続けてこられたのも「人に恵まれたから」だと語り、「これからも素敵な出会いに感謝しながら、そして自分自身が楽しみながら、大好きなちりめん細工を続けていきたい」と笑顔で話していました。

町立図書館新刊案内

「菩薩花」 今村 翔吾 著



ぼろ蔵組松永源吾は、他の火消から手柄を奪おうと闘う上止寺藩火消格と市の姿を目にする。そんな折火消による付け火を疑う説書書きが姿を消した。真相を追う源吾たちの前に現れたのは、定火消進藤内記だった。新庄藩の火消組をモデルにした羽州ぼろ蔵組 シリーズ第5巻。

「やくそくの大地踏」 一山形黒川能の王祇祭



「こつ太は運動が苦手な男の子。そんなこつ太が、2月の王祇祭で「大地踏」を舞うことに決まりました。それは、亡くなったお父さんの希望で…。黒川の守護神春日神社で行われる王祇祭で子どもが演じる「大地踏」を描いた絵本。著者は鶴岡市出身。

【その他の新刊】

- ▼あの夏、二人のルカ / 菅田哲也
- ▼あやかし草紙 / 宮部みゆき
- ▼砂の家 / 堂場瞬一
- ▼つなぐりの蔵 / 榎川美智子
- ▼紅のアンデッド / 川瀬七緒
- ▼バルス / 楡周平
- ▼傍流の記者 / 本城雅人
- ▼発達障害を生きる / NHKスペシャル取材班
- ▼遅刻してくれて、ありがとう / 下ノトマス・フリードマン
- ▼カヴァル / ステファニー・ガーバー
- ▼緑の扉は夢の入口 / ケルスティン・ギア
- ▼空飛ぶタイヤ / 池井戸潤
- ▼日の出 / 佐川光晴
- ▼認知症を堂々と生きる / 宮本礼子
- ▼玉村警部補の巡礼 / 海堂尊
- ▼図解でわかる14歳からの天皇と皇室入門 / 山折哲雄
- ▼鴨川食堂はなんなり / 鴨川食堂おまかせ
- ▼鴨川食堂いつもの柏井書
- ▼ひとり / 句集 / 瀬戸内寂聴
- ▼瑕疵借り / 松岡圭祐
- ▼カットバック / 今野敏
- ▼赤銅 (あかがね) の魔女 / 乾石智子
- ほか



【ブックテマコーナー】「育てて楽しむ!!ハーブ&家庭菜園」

戸籍のまど

Asahi town

5月1日～5月31日届出

Births				すこやかに
区名	出生児氏名	性別	保護者名	
大谷四	齋藤 柚季	男	佑輔・里美	

Obituaries			やすらかに
区名	死亡者氏名	世帯主名	
大谷一	佐竹 かつ	一 紀	
西船渡	鈴木 幹雄	敬 一	
立木	阿部 和子	政 和	
大暮山	長岡 良一	みき子	
大隅	菅井 信太郎	敏 美	
送橋	清野 雄市	優 子	
大谷四	長岡 勉	定	
常盤	鈴木 さたの	正 富	
四ノ沢	堀 ヤ工	良 一	
大谷一	志藤 よしゑ	幸 次	
緑町	菅井 洋子	守 訓	
松原	松尾 とし子	ミチ子	
前田沢	若月 淳一	康 朋	
大谷一	大谷 むつ子		

こないのリンゴさん

(302) ホリイ

子育てや女性特有の体の悩み 母子保健コーディネーターに ご相談ください

【平成30年度 第3回】
今月の担当…須藤 百子 保健師



▲相談会の様子。町の保健師と助産師がお悩みを伺います

湿度が高い梅雨の時期、皆さんの体調はいかがでしょうか。熱中症も増える季節です。水分補給や暑さ対策をしっかり行いましょう。

さて、今回のテーマは「女性の健康相談」です。今年度から「母子保健コーディネーター」として、役場に助産師さんが着任しました。母子保健コーディネーターは、妊娠中から出産・子育て期まで、特に女性の悩みに寄り添い、切れ目のないサポートを行います。

「妊娠中に気を付けるべきことは？」「母乳が出づらいかも…」など、心配ごとや育児の悩みはありませんか。また、「病院を受診した方がよいのかな?」、「子どもに気になる症状がある」など、どんなことでも構いません。

女性の健康相談は、お子さんの身体測定日などに合わせて毎月2回（左記参照）行っています。また「他の人に聞かれない」という場合は、個別面談や訪問も行いますのでお問合せください。

女性のライフスタイルは妊娠・出産だけでなく、ホルモンとともに、心身に様々な変化が訪れるものです。1人で抱え込まずに、気軽に相談してくださいね。

- ◆今年度の「女性の健康相談」開催日（全日程金曜日）
 - 6月15日、7月6日・20日、8月3日・17日、9月7日・21日、10月5日・19日、11月2日・16日、12月7日・21日、1月11日・18日、2月1日・15日、3月1日・15日
- ◆時間
 - 午前10時～11時30分
- ◆場所
 - 子育て支援センターあさひ（あさひ保育園隣接）
- ▼申込み・問合せ先
 - 健康福祉課 健康推進係
 - ☎67・2116

掲載を希望しない場合は届出の際にお申し付けください

子どもたちの安全と安心のため 横断指導線を整備しました



子どもたちが道路を横断する際の安全のため、今年3月より利用を開始した放課後児童クラブ「りんごっこ」新施設およびあさひ保育園前の道路に、横断指導線を整備しました。運転者の皆さまは、子どもたちが横断中は停車するなどの配慮をお願いいたします。

▶問合せ先 総務課 防災係 ☎67-2111

Population

人口と世帯数

●平成30年 5月31日 現在
※（ ）内は先月比

人口	6,967 人 (-30)
男	3,449 人 (-11)
女	3,518 人 (-19)
世帯数	2,432 世帯 (-12)

----- 5月中の異動 -----

出生	1人	転入	13人
死亡	21人	転出	22人

(※外国人を含む)

町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策

第12回 大朝日岳

【DATA】宮宿から県道白滝・宮宿線に入り、白滝から林道・登山道に登る。朝日鉱泉や古寺鉱泉からの登山道もあるが、いずれも本格的な登山コース

磐梯朝日国立公園の中核をなす朝日連峰の主峰、大朝日岳（標高1871m）の山頂は朝日町の領域であり、町名の由来にもなっています。古代には山岳信仰の対象として修験者が入山したとされ、山頂付近には桃山時代に入道した直江兼続が開削したとされる朝日軍道が通っていました。その雄大な姿と、登る途中のブナ原生林や多様な高山植物に見られる豊かな自然から「日本百名山」にも選ばれ、毎年多くの登山者が訪れます。

朝日連峰の山開きは、例年6月の第3日曜日に、鳥原山東側の鳥原小屋付近にある「朝日岳神社」の例祭に併せて行われるんだ。関係する市町の担当者や山岳会の会員、一般登山者と一緒に、山の安全を祈願するんだって。

今年は6月17日に行われる予定で、鳥原山山頂まで足を伸ばせば、残雪の大朝日岳を目前に見ることができるよ。

【おすすめの季節】6月中旬から降雪前の10月下旬まで。緑の夏はもちろん、秋の紅葉も美しい

案内人のつばき



操法の部優勝第2分団第2部と、準優勝第2分団第4部



第47回 町消防操法審査会

町消防団の操法技術と統制力を競う「朝日町消防操法審査会」が、5月27日、創遊館駐車場を主会場に開催されました。

団員の士気向上や有事即応の体制確立を目的に2年に1回開催されるもので、今回で47回目。自動車ポンプと小型ポンプの各操法、そして小隊訓練に12部が出場し、各団員が早朝から繰り返しきた日頃の訓練成果を披露しました。

審査および表彰結果は下記のとおりです。

【操法の部】

▼優勝 第2分団第2部（松程・大船木・今平） 小型ポンプ

▼準優勝 第2分団第4部（常盤・夏草・長沼） 小型ポンプ

【格付表彰】

▼金賞（紫）

第2分団第2部 小型ポンプ

▼銀賞（赤）

第1分団第5部（大滝・宇津野・松原・杉山） 小型ポンプ、第1分団第2部（前田沢・新宿・四ノ沢・緑町） 小型ポンプ、第2分団第3部（西船渡・八ツ沼・能中・高田） 小型ポンプ、第1分団第3部（小原・宿・沼向・大隅・平） 小型ポンプ、第2分団第4部 小型ポンプ、第1分団第1部（本町・西町・栄町・大町・元町・西原・助ノ巻・雪谷） 小型ポンプ、第1分団第3部（小原・宿・沼向・大隅・平）

ポンプ車、第1分団第1部（本町・西町・栄町・大町・元町・西原・助ノ巻・雪谷） ポンプ車

▼銅賞（緑）

第2分団第4部 ポンプ車

【小隊訓練の部】

▼優勝 第3分団第1部・第2部合同チーム（大谷一七、大暮山・大沼）

▼準優勝 第1分団第3部（小原・宿・沼向・大隅・平）

今年で開催14年目となる「町長と語ろう」。毎年「すべての集落に足を運びたい」という鈴木町長の強い思いから、町内55区全地域で開催されています。

両者の予定を調整しながら実施しているため期日を過ぎる場合もありますが、今年も10月中旬までを目標に、全座談会を終了することとしています。短い期間ですが、皆さんからいただいたご意見を確実に次年度予算へ反映させるためですので、ご理解とご協力をお願いします。

春夏秋冬 編集後記

風通しの良い
町政運営を目指して

また、意外と知られていない(?)「町職員地域派遣事業」についてもご紹介しました。当座談会で町長に随行しているのが、あなたの地区の担当職員です。近年はあえて「当職員が居住する地区以外」に配置されるようになっていきます。ぜひ顔と名前を覚えていただき、気軽に声をかけください。皆さんにとって「話しやすい」「聞きやすい」職員が増えるほど地域と行政間の風通しが良くなり、住み良いまちづくりにつながっていきます。

村山 彩